

## 開会挨拶（2023年4月20日）

皆様こんにちは。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。第89回運輸政策セミナーの開会に当たり一言申し上げます。

最初に、本日のセミナー開催に至る経緯についてであります。一枚目のスライドをお願いします。このスライドは、国交省が作成した「物流DX導入事例集」から借用してまいりました。

運輸総研では、2021年7月の第74回運輸政策セミナー「物流とDX～デジタル技術で労働力不足を乗り越えられるか～」において「クラウド型配車計画支援」と「荷主・ドライバーマッチング」を取り上げ、また、2022年11月の第87回運輸政策セミナー「物流分野におけるドローンの社会実装」において「ドローン物流」を取り上げてまいりました。本日のセミナーでは、これらに続く「物流DX」シリーズの第3弾として、「自動運転トラック搬送」を取り上げ、「物流効率化のためのトラック自動運転の普及促進に向けて」をテーマとして皆様と考察を深めたいと考えております。

なお、本日のセミナーにつきましては、企画段階から、当研究所理事でもある三井物産の山口裕視特任アドバイザーに貴重なアドバイスをいただいております。

す。この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。

次に、本日のセミナーのご登壇者を紹介いたします。二枚目のスライドをお願いいたします。

まず、国交省自動車局の多田自動運転戦略室長に、「物流の観点から見た自動運転」と題して講演をしていただきます。

その後、当研究所理事でもある筑波大学の石田名誉教授をコーディネーターとして、多田室長のほか、三菱総研の佐藤主任研究員、豊田通商の錫村グループリーダー、株式会社T2の下村代表取締役CEOにご参加いただき、「今後の物流効率化のためのトラック自動運転の実用化に向けた課題と対応策」について、パネルディスカッションと質疑応答を行うこととしております。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどしどしお寄せいただければと思います。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本（にっぽん）財団に御礼を申し上げるとともに、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、誠に簡単ではありますが、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしくお願いたします。